

環境保全・地域貢献レポート

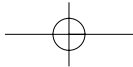
Report 2003



びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の保全と改善に努め、『環境こだわり銀行』として地域社会との共生を目指しています。現在、地球規模で21世紀型の持続可能な循環型社会への転換が求められている中であって、琵琶湖の水と周りを取り囲む山々の恵みを受けた滋賀県は、環境先進県にふさわしい自然環境保全意識を県民全体で育んできました。その滋賀県を主要な営業基盤に持つ当行では平成13年1月に全国の第二地銀で第1号となるISO14001を取得しました。環境への負荷を抑えた事業活動に成果を上げるとともに、環境関連商品の充実・推進などを通じ、お客さまの「環境関連事業」や「環境保全に向けた対応」などをサポートすべく全力で取り組んでいます。



草津市志那「平湖」
当行が昭和60年に寄贈した150本の桜が20年近い歳月をへて立派に育っています。
びわこ銀行では「きれいな水は豊かな緑から」との思いで、昭和50年より県内各地への苗木の寄贈に取り組んでおり、その数はすでに11万本を超えました。



「環境銀行」



びわこ銀行は行内に「環境銀行」を創設し、
美しい自然環境を守り続ける活動を支援しています。

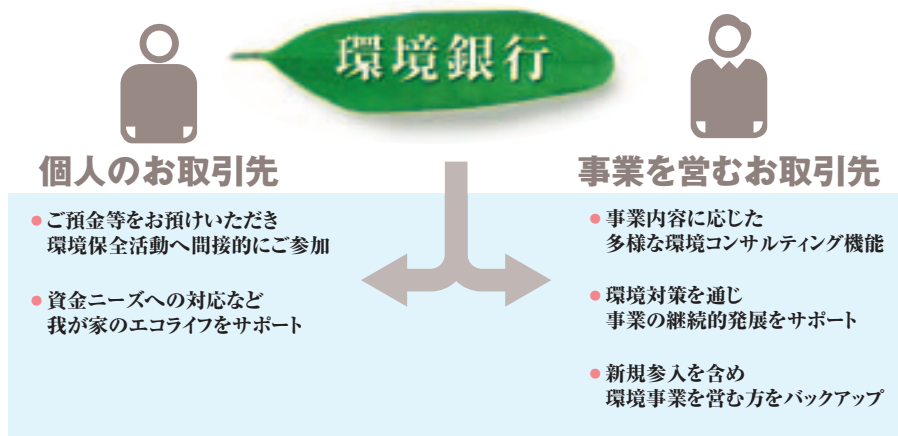
地域社会への貢献

- 自然環境保全活動への助成
- ボランティア活動への参加



銀行運営上の取り組み

- ISO14001認証取得
- 環境対策の実践



行内組織により、効果的な機能が発揮できる運営体制としています。

環境関連事業委員会の設置

コンサルティングや環境関連商品の充実等、環境銀行が有効に機能するための委員会を設置しています。業務の拡大に応じ、将来的には「環境関連事業部」の設置を目指します。

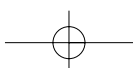
専門機関との提携

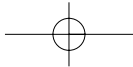
充実したコンサルティングを行うため、多くの専門企業・大学等とタイアップしています。

活動内容は四半期ごとに情報開示します。

環境部門を明確に区分することにより、ご理解いただきやすい事業報告を実施していきます。

- 決算報告：半期ごと（9・3月）に内部管理手法に基づく損益情報を開示
- 取扱商品の残高：四半期ごと（6・9・12・3月）に取扱実績を開示
- 助成実績：期間中の助成については金額、交付先を開示
- その他、環境保全に関する活動実績の開示





事業者のお客さま向けサービス

多彩なコンサルティング機能

専門企業とのタイアップにより、充実したコンサルティングを行っています(有料)。

法的規制への対応：環境関連法の施行により企業の社会的責任が明確化されています。汚染状況の調査や予防・改善措置など、事業の内容に応じた対策をサポートしています。

経費の削減：環境保全活動の二次的効果として期待される経費の削減について、お客さまの事業規模に合ったアプローチ方法を提供しています。

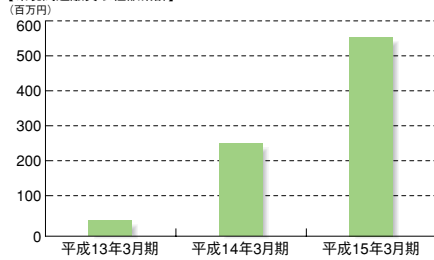
環境関連の認証取得：国際規格や簡易規格など、お客さまに合った認証取得をお手伝いしています。

ビジネスチャンスの拡大：新規参入を含め、環境ビジネスに携わるお客さまのご相談ニーズに対応しています。

資金ニーズへの対応

環境をテーマとした資金ニーズにお応えいたします。

【環境関連融資取組額累計】



ISOサポートローン

認証取得に必要な資金に対応します。

環境サポートローン

目的に合った5つのプランをご用意しています。

- クリーン設備プラン
大気汚染・水質汚濁を防止するための設備資金
- 省エネ設備プラン
省エネルギー対策のための設備資金
- リサイクル設備プラン
資源のリサイクルを行うための設備資金
- 土壌汚染改良プラン
土壌汚染の防止・改良のための設備資金
- 環境産業支援プラン
環境関連産業を営む事業者の方向けの設備資金

個人のお客さま向けサービス

間接的な環境保全活動へのご参加

ご預金等のお取引を通じて、環境保全活動をご支援いただけます。

エコライフ定期預金(予定)

ご預金の残高の一定割合を、環境保全活動への助成金とします(当行負担)。なお、お取り扱いには期間限定です。

投資信託の窓口販売

環境熱心企業へ投資するエコファンドを取り扱っています。

お預けいただいた預金の残高の一定割合を環境保全活動への助成金とします(当行負担)

- ご預金の残高の0.02%を助成します
- ※助成金の割合は募集期間によって異なります

「お客さま」は、通常より有利な条件でお預けいただけます

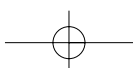
- スーパー定期の期間別基準金利+0.05%の金利が適用されます
- ※上乗せ幅は募集期間によって異なります

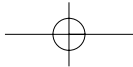
直接的な環境保全活動へのご参加

「我が家のエコライフ」を行うための資金ニーズにお応えします。

エコライフプラン

- リフォームローン
自宅に環境配慮型設備を設置するための資金
- オートローン
低公害車を購入するための資金
- 住宅ローン
環境配慮型の住宅を建築するための資金
- 環境に優しい住宅・マイカーのために3つのプランをご用意しています。





「環境マネジメントシステム」の運用

びわこ銀行環境方針



基本理念

びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の維持と改善に努め、環境こだわり銀行として地域社会との共生を目指します。



環境方針

1. びわこ銀行は、環境負荷の軽減を積極的に推進するエコ・リーダバンクとして、環境保全に資する商品やサービスの提供などの事業を通じ、環境保全活動を支援し、環境マネジメントシステムの継続的な改善および汚染の予防に努めます。
2. 廃棄物の削減、省エネルギーとともに、緑の森づくりへの協力を努め、環境にやさしい企業活動を積極的に展開します。
3. 環境保全に関する法規則およびその他要求事項を遵守します。
4. 環境目標・目的を設定し、その実現を図るとともに、定期的に見直します。
5. 環境方針は、文書化し、実行し、維持するとともに、全行員に周知徹底します。

～この環境方針は、一般に公表します。～

目的および目標

当行は、「ISO14001」の運用にあたり、「びわこ銀行環境方針」に基づいて、目的と目標を具体的に定めています。その達成に向けてさまざまな取り組みを続けることにより、ひいては資源循環型社会への対応に努めています。

【目的・目標とその成果】

目的	目標	単位	平成13年度	平成14年度		
			実績	目標	実績	達成度
省エネ	電気の使用量削減	使用量/万kWh	193	197	188	○
省資源	ガソリン使用量削減	使用量/ℓ	44,090	45,440	42,371	○
	紙の使用量削減	使用量/万枚	312	310	302.5	○
	廃棄物(焼却紙)の削減	排出量/t	12.7	7.5	5.6	○
	紙のリサイクル率向上	リサイクル率/%	61.8	70	83.7	○

上記の項目以外に、「環境保全型商品・サービス、情報の提供」「緑の森づくり運動の推進」にも、関連部門が中心となって継続的な取り組みを進めています。

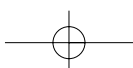
また、平成15年度はISO14001を銀行業務に生かすための目的・目標を設定し、推進しています。

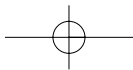
当行のISO14001運用状況は高い評価を得ています

今年の1月、当行はISOの審査機関である(財)日本品質保証機構(JQA)の定期審査を受審し、環境マネジメントシステムを的確に機能させている取り組みが非常に高い評価を受けました。



定期審査を受審





環境教育・訓練

- 「ISO14001」を運用していくためには、役職員一人ひとりの環境に対する意識改革が不可欠です。当行では、啓発活動として環境セミナーを定期的開催し、地球環境保全の重要性、環境マネジメントシステムの仕組み等について学習しています。また、毎年内部環境監査員（内部環境監査員養成コース：2日間コース）を数名養成しています。役職員に対しては、「環境目標、かんたんルール、自覚の教育」等を記載した環境ISOハンドブックの携帯を徹底し、環境意識の昂揚に努めています。
- 当行では、「重油貯蔵タンクの油洩れ（給油時・貯蔵時）」、「ハロンガスの洩れ」を緊急事態として特定し、定期的に手順のテストと緊急事態訓練を実施して、必要に応じた見直しを行っています。

【 教育用テキスト・環境ISOハンドブック 】



定期的実施する環境教育



環境に配慮した頒布品の取り扱い

窓口でご使用いただく伝票類やお札を巻く封紙をはじめ、紙幣袋、通帳ケース、お客さまへの頒布品（ノベルティグッズ）についても、ケナフ（二酸化炭素吸収力の強い一年草）使用のティッシュペーパー、ダイオキシシン対応のエコラップなど環境に配慮した商品に切り替えています。現在、当行の頒布品はすべて環境配慮型となっています。



環境情報の提供

当行では、お取引先の皆さまに役立つ環境情報を提供しています。

- 「エコさん一家の日曜日」
毎年、滋賀県や琵琶湖の環境にまつわるテーマを選定し、解説するお子さま向け環境学習冊子を発行しており、わかりやすいと評判です。また、巻末の環境クイズには毎回多数のご応募（平成14年度は400件）をいただいています。



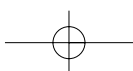
- 「なるほど！ISO14001」
我が家における環境ISOの取り組みISO14001のシステムを一般家庭の環境改善に置き換えてわかりやすく解説した冊子です。

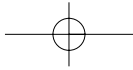


- 「びわぎん経済情報」
毎月発行の経済情報誌「びわぎん経済情報」では、環境関連ビジネスや諸制度の解説、環境関連事業を営むお取引先へのインタビュー記事等を掲載しています。



- 「ディスクロージャー誌」
昨年よりディスクロージャー誌に「びわご銀行の環境保全活動」ページを設け、皆さまに当行の取り組みを報告しています。

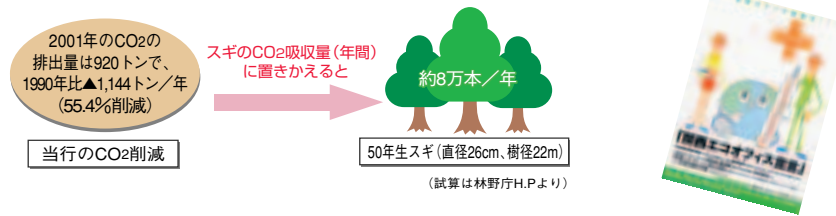




地球温暖化防止への取り組み

<関西エコオフィス宣言に賛同し、運動に参加しています>

当行は、「関西広域連携協議会（滋賀県など関西の自治体で構成）」が提唱・推進する「関西エコオフィス宣言」の賛同企業に応募し、本店および全営業店を対象として、地球温暖化防止に向けた取り組みを行っています。冷暖房温度のきめ細かな設定（暖房20度、冷房28度）、空調機の運転時間の限定、アイドリング防止の啓発活動による排気ガスの軽減などにより、温室効果ガス削減に努めています。

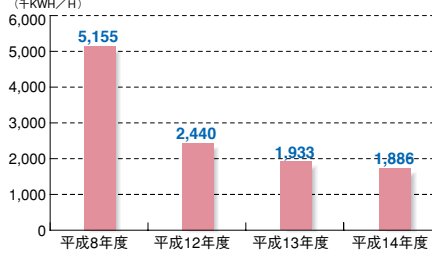


省エネ・省資源

<電気使用量の削減>

- ◎照明の電気はこまめに切って節電に努めています。
- ◎空調機の運転時間を限定しています。
 - 本店/事務センター……………8:00~17:00
- ◎平成14年度の電力使用量は、平成8年度比327万KWHの削減となっています。これは、一般家庭約930軒分の年間消費電力に相当します。

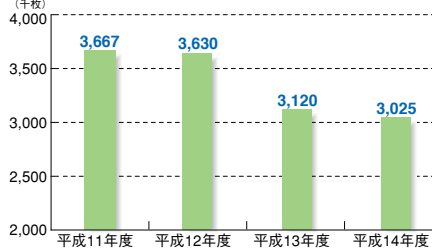
【電力使用量】
(千KWH/H)



<紙の使用量の削減>

- ◎コピーの取り方を工夫しています。
 - 両面コピー、裏面コピーを励行しています。
 - ミスコピーの防止に努めています。
- ◎コピー用紙はすべて再生紙を使用しています。

【紙の使用削減推移(仕入れベース)】
(千枚)



<夏期省エネ活動「ノーネクタイ運動」>

当行では、平成13年度より毎年8月に「ノーネクタイ運動」を展開しています。ノーネクタイの場合、体感温度は約2℃涼しくなるとされ、夏場の省エネ効果に成果を上げているほか、お客さまからもさわやかなエコ・スタイルが好評をいただいています。

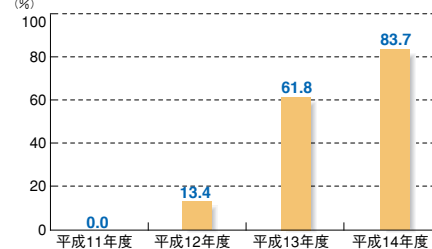


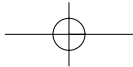
廃棄物(紙)の削減

<廃棄物(紙)のリサイクル推進>

- ◎使用済みとなった紙類のリサイクル化を推進しています。
 - 機密書類関係は、製紙会社にて溶解し、段ボールの素材にリサイクルしています。
 - シュレッダーゴミはトイレトーパーにリサイクルし、当行において使用しています。
- ◎平成15年度はリサイクル率90%を目指しています。
- ◎平成14年度より廃蛍光灯のリサイクルシステムも稼働させています。

【廃棄物(紙)リサイクル率】
(%)





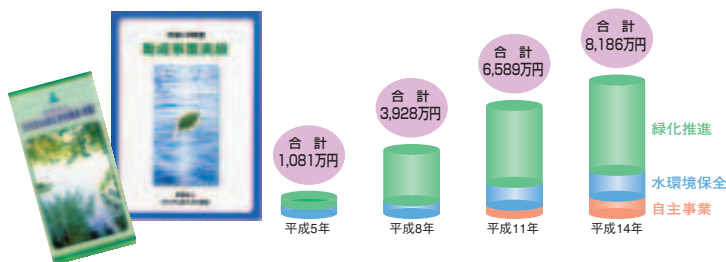
“美しい自然を未来に残したい”

緑の森林(もり)づくり運動の推進

びわぎん緑と水の基金

平成4年10月、創立50周年を記念して財団法人「びわぎん緑と水の基金」を設立、県内で緑化推進や水環境保全活動を行っている諸団体に対して助成を実施しています。

【びわぎん緑と水の基金による助成実績(累計)】



基金による
ヨシ刈り活動
への助成



苗木の贈呈

苗木の寄贈

昭和50年、栗東市で第26回全国植樹祭が開催されました。これを記念し、びわこ銀行では毎年春と秋に滋賀県緑化推進会を通じて、サクラやモミジなどの苗木を学校や神社・仏閣に寄贈しています。その数は、平成15年3月現在で11万本を超えています。

社会貢献活動

ボランティア活動

役職員の社会貢献を支援する目的として、平成7年に「ボランティア活動支援委員会」を設置し、ボランティア休暇制度をはじめとした支援体制を整えるとともに、地域で開催される様々なイベント・行事への参加、社会福祉施設での体験ボランティアや清掃活動など、地域社会とのふれあいを大切にしています。



「びわこ水源の森林づくり」
ボランティア活動



「クリーンアップびわこ」を実施し、
第3回世界水フォーラムに参加

スポーツ貢献

平成5年から始まった「手島杯争奪びわ銀学童野球」のほか、平成6年には「びわこ銀行杯少年サッカー選抜大会」、平成7年には「びわこカップ滋賀県中学生卓球大会」をそれぞれ創設し、以来、3つのスポーツ大会に協賛しています。当行は、スポーツ大会への協賛を通じて、湖国スポーツのレベルアップと子どもたちの健全な成長を願っています。



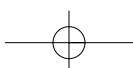
手島杯争奪びわ銀
学童野球大会

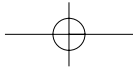


びわこ銀行杯
少年サッカー選抜大会



びわこカップ
滋賀県中学生卓球大会





びわぎん環境トピックス

天然ガス車を導入

当行では地球温暖化要因の1つであるCO₂削減に貢献するため、今年6月、天然ガス自動車（軽自動車）を1台導入しました。なお、平成15年3月末現在、当行の低燃費自動車は全体の約75%（軽自動車66%、普通車のうち低燃費車9%）を占めています。



リサイクルペーパーを寄贈

昨年10月、本店および支店で発生する書類をリサイクル処理したトイレトペーパー1万ロールを滋賀県教育委員会を通じて県立障害児教育諸学校（盲・聾・養護学校12校・1分校、児童生徒数約1,100名）に寄贈しました。



各種イベントにパネラーとして参加

びわ湖環境ビジネスメッセ2002協賛事業として開催された、国際シンポジウム「エコむらから未来社会を展望する」のパネル討論にパネラーとして長尾頭取が参加。満席の会場で、現代の環境問題について幅広い視野で討議が行われました。さらに、同日、長浜市で開催された環境ISOセミナーでは、「ローコストで取り組む環境ISOの継続的改善」と題して、当行の環境推進室長がISO運行状況や環境改善の具体的事例について紹介しました。また、今年の6月30日には、滋賀県主催のシンポジウム「考えてみようサマータイムの楽しみ」に長尾頭取がパネラーとして参加し、サマータイムと経済の関係などについて意見交換を行いました。



「エコむらから未来社会を展望する」



「考えてみようサマータイムの楽しみ」

蛍光灯リサイクルシステム導入

当行で発生する年間約800本の廃蛍光灯をすべてリサイクルするシステムを導入しました。リサイクルされた蛍光灯はガラスブロックや建材として再利用されるなど、新たな資源に還元されています。

蛍光灯の循環再生

